



# 波 濤

[http://www.geocities.jp/hatoh\\_net/](http://www.geocities.jp/hatoh_net/)

## 第 3 7 号

発行 放送大学神奈川同窓会  
 編集委員会  
 責任者 笠井政記  
 発行日 平成21年4月1日  
 会員数 529名(平成21年4月1日現在)

平成20年度の神奈川同窓会は、全国同窓会連合会の会長役を担うことになり、笠井政記は連合会会長に専念し、木村勝紀は会長代行として、神奈川同窓会の内部運営に当たるといって体制で臨みました。会長は「放送大学同窓会連合会長として」、副会長は「20年度の振り返りと21年度の展望」を語っていただきました。

### 放送大学同窓会連合会長として

笠井 政記

連合会は、生涯学習の理想の実現をめざし、情報の共有化をはかり、同窓会相互の親睦並びに母校及び同窓会の隆盛発展を図ることを目的といたしております。現在組織の全国化を目指しておりますが、全国の各地区学習センター及びサテライトの合計39の同窓会が加盟(平成21年1月1日現在)いたしております。強制力はなく、自主加盟です。

行事は、毎年、総会及び学校が主催いたします学位授与式の後を受けまして卒業謝恩パーティを開催しております。また、学校側及び全国各同窓会との情報交換会を隔年に開催いたしております。

私が会長に就任した際に、四つを課題としてあげました。

#### 1. 会報誌の発行(年2回)

「会報誌・公孫樹の発行」ですが、今年から、経費削減ということから従来の紙ベースの配信を廃止し、同窓会のホームページに掲載することにいたしました。また、マンネリ化を防ぐためにも内容を検討し、充実を図りました。

#### 2. 謝恩会の開催

今年の3月28日に開催いたしました(別掲)。

#### 3. 会則の整備充実

副会長の業務が多忙のため増員する等の変更を総会に提案いたします。

4. 同窓会の変遷史の作成変遷史を作成することは、経費も日数もかかるということから、会報誌「公孫樹」の特別版を発行することになりました。

これらは経費の問題があります。今年度から少なくなりました会報誌の編集費用、ホームページの維持管理費等の経費がかかります。しかし、収入の道が無いのです。現在余剰金より捻出いたしておりますがその余剰金もそろそろ底をついてまいりました。また、重要案件につきましては総会にて決議いたしますがほとんどの案件は、近県同窓会にて組織する役員会

にて決議いたします。しかし、出席者に旅費は一切支払いません。予算が無いのです。各同窓会から会費を徴収するかどうかを永年検討いたしておりますが、各同窓会も運営費で手一杯であり会費の徴収は当分の間検討課題となると思います。学校側からの何らかの支援をいただけるよう交渉いたしております。

話は変わりますが、去年は、牛肉、ウナギ等の食品問題を初め各種の偽装問題が世間を賑わせました。相田みつおさんのエッセイに「トマトがトマトであるかぎりそれはほんもの、トマトをメロンに見せようとするからにせものとなる」というのがあります。私の連合会長の任期もあと数ヶ月です。残った任期、トマトをメロンに見せるような無理をするようなことなく、自分のペースで乗り切っていきたいと思っております。



目 次	
放送大学同窓会連合会長として	1
20年度の振り返りと21年度の展望	2
第20回通常総会のお知らせ	3
平成21年度行事お知らせ	3
企画だよりのレポート	4~5
投稿コーナー	6~8
放送大学同窓会連合会の紹介	8
同窓会活動への期待	9~10
行事活動報告	9~10
学位記授与式・卒業謝恩パーティー	11
事務局だよ	12

## 20年度の振り返り

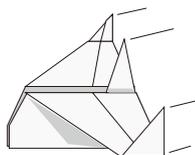
## 21年度の展望

会長代行 木村 勝紀

～～平成20年度の振り返り～～

平成20年度の課題はなんといっても会の結合・力醸成と会員間の情報交流機会の多様化への取組みでした。神奈川同窓会は会員登録数こそ大所帯でしたが、実態は半数近い会員からの年会費が未納という、綿飴のような状況だったのです。これは会員の皆様に責任があるわけではなく、神奈川同窓会に所属することにメリットと魅力があったかなかったか、という問題だったのです。会員の皆様の目的を持って入会されたのだと思います。同じ放送大学で苦楽を共にし、卒業という栄冠を勝ち得た仲間との新たな交流機会として、同窓会に入会されたのではないのでしょうか。同窓会は、その期待に応えなければならないという問題意識でした。まずは前年度からの流れとして、会員間の情報交流機会の多様化に取り組みました。編集会議を新設しての「波濤」の紙面充実、「hatoh-net」の参加者増員と交信頻度増進活動、ホームページのコンテンツ充実と原稿募集活動などです。もちろん行楽行事や講演会や映画鑑賞会も実行致しました。成果の程は未だ道半ばで緩慢の域をでませんが、継続することによって必ずや陽の目を見るだろうことを確信しています。

一方、綿飴状態から脱却するために会員数の減少というリスクを承知しつつも、2年以上会費未納の会員には事前にお知らせの上、会員資格停止、「波濤」発送停止など会則を改定致しました。そして新たな入会者を増やすために入会金の値下げを実行致しました。会員名簿管理の整備にも努めました。



～～平成21年度の展望～～

さて、平成21年度の展望ですが、会費未納会員の整理が4月1日から実行となりましたので、会員数の減少が見込まれます。しかし、会員数の減少とともに未納会員へのムダな費用が減り、年会費の収入と支出がバランスすることになります。このムダだった費用の有効活用で知恵を出すことになるでしょう。また、入会金の値下げも4月1日から実行に移されましたので、卒業生総数に対する同窓会入会希望者の割合の改善が見込まれます。

会員間の情報交流機会の多様化路線は、引続き継続発展させることとなりますが、会員の皆様の

意識次第で結果は左右されることでしょう。同窓会活性化の原点は、一にも二にも会員間の情報交流の活性化如何にかかっていると思います。情報交流の活性化も行事の活性化も会員参加型への移行が重要ではないでしょうか。会員の皆様からの熱い共感とご協力を切にお願いする次第です。

「波濤」のみが唯一の情報交流機会となる会員の皆様とのコミュニケーションには、「波濤」の充実の他にも新たに知恵を絞ることになるでしょう。パソコンをご自宅にお持ちの会員の皆様には一人でも多く「hatoh-net」に参加して頂くよう願っています。

## ◆社会貢献活動

社会貢献活動についても一言触れたいと思います。フォスタープランは、国際NGO、財団法人日本フォスター・プラン協会（プランジャパン）を通して世界の恵まれぬ子どもたちへの援助を続けてまいりました。今後も社会貢献活動の一環として続けて参ります。今後の神奈川同窓会の社会貢献活動はフォスタープランのみに限定せず、幅を広げて国内の恵まれぬ子どもたちにも目を向けた活動も模索して行きたいと思います。

## ◆役員会の状況

役員会の動きについても触れておきましょう。役員会は、ほぼ毎月1回同窓会活動のために熱心に議論を重ねています。役員の皆様は、貴重な時間と労力を割いて役員会に駆けつけて頂いており、その熱心さに頭が下がる思いです。年2回の卒業生のための卒業祝賀会には役員全員で奉仕しています。この場を借りてご報告申し上げます。

最後になりましたが、「波濤」も今回で37号を迎えることになりました。編集に携わる方々に改めて深甚なる感謝と敬意を表したいと思います。



平成21年2月14日の会議の風景

## 第20回通常総会のお知らせ

平成21年6月13日(土)午後1時より第20回放送大学  
神奈川同窓会通常総会を神奈川学習センターの講義  
室において開催します。

### 議案

- 第1号議案 平成20年度活動報告
- 第2号議案 平成20年度収支決算報告
- 第3号議案 平成20年度社会貢献活動報告  
(フォスター・プラン活動報告)
- 第4号議案 平成20年度社会貢献収支決算報告  
(フォスター・プラン収支決算)
- 第5号議案 平成21年度活動計画案  
平成21年度社会貢献活動計画案
- 第6号議案 平成21年度収支予算案  
平成21年度社会貢献活動収支予算案

\* 出欠(ハガキ)の回答は5月31日までにお願いします。

### 講演会

日時：総会終了後 14:30から16:30

演題『裁判員制度 もしあなたがえらばれたら』

講師：横浜地方検察庁広報担当職員または検事

懇親会：講演会終了後

場所：玄や

参加費：3000円

## 平成21年度行事のお知らせ

### 緑の高尾山散策

5月のウォーキングはパワーを貰える山として人  
気の高尾山(国定公園)です。頂上まではケーブル  
カー利用で、後はのんびり新緑を楽しみましょう。

日時：平成21年5月23日(土)  
集合：9:30 JR横浜駅京浜東北線上りホーム  
東京より  
交通費：(JR.京王.ケーブルカー)2920円  
昼食各自持参

申し込み：高橋照夫  
e-mail: nsjxw765@ybb.ne.jp  
はがき：〒259-1132  
伊勢原市桜台4-7-53  
Fax: 0463-92-8037  
締め切り：平成21年5月16日

行 程	
9:30	東神奈川経由で横浜線 利用してJR八王子駅
11:00	京王線に乗り換えて高尾山口到着
11:30	ケーブル駅きよたきから ケーブルカーで高尾山へ 昼食休憩 山頂散策 高尾自然動植物園 蛸杉(天然記念物) 薬王院 十三州大見晴台など
15:30	下山 往路の逆ルートでJR八王子駅
17:00	JR横浜駅で解散

### 歌舞伎鑑賞と築地界隈探訪

歌舞伎座建て替えのさようなら公演を楽しみなが  
ら、築地市場や波除神社など築地界隈を探訪してみ  
ましょう。開催予定は11月です。  
詳細は次号の『波濤』でご案内します。

### 映画鑑賞会・講演会

同窓会恒例の映画鑑賞会を平成22年2月28日  
(日)に放送大学神奈川サークル協議会と共催で実  
施します。詳細は次号の『波濤』でご案内します。  
会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。



## 企画たよりのレポート

## 浅草で落語を楽しんだ!!

大島 キヨ子

神奈川県同窓会・秋の行事企画に参加した。実を言うと、私はイベント参加型の卒業生。今回の企画も送られて来た波濤を見て内容が気に入った。「江戸東京博物館特別展・ボストン美術館浮世絵名品展と浅草演芸ホールで落語を楽しむ」とあったからだった。マーカーをして切り抜き持ち歩いていた。しかし旅行から帰ると締め切りが過ぎていた。急いで高橋さんにメールをすると快い返事があり安堵した。10月25日9時30分、集合場所へは相当早めに着いたので、成田行きを待つイギリス人とちよっと英会話。退屈しないですんだ。私の担当は落語以降について書くことなので、まずは浅草演芸ホール昼の部2時から始めます。入場前に入り口で写真を一枚。看板には「昼の部主任・生」とあり、桂歌丸の写真が出ていた。狭い入り口、細い階段を上って3階最上部の立見席へ急いだ。段差に腰を下ろして座席の人の肩越しに前座の舞台を見ながら、手持ちのお弁当タイム。ロープで確保されていた席が団体客で埋まると、通路の段差が埋まり、壁に人が張り付いた。

1時間後、演者の顔が判る程度の席に高橋さんが案内してくれた。すでに2名の女性仲間がいたので1時から終演の4時半まで楽しくメモを取ることができた。笑いを楽しむ余裕も持てた。もしも立ち通しだったら、腰痛で笑うどころではなかっただろう。なんとこの演芸ホールは入れ替えをしない。2500円で11時40分から9時まで飲食持参で楽しめるのだ。正味5時間、この道の愛好者にはさぞ魅力の場であろう。着席後は桂幸丸の舞台から始まった。麻生総理をまな板の鯉にして扱き下ろしたのは痛快だった。タイムリーでこ気味よかった。Wモアモアは男二人で、ゆとりのない世情を加瀬大周の大麻事件などで憂い、姥捨て山へ置いてきたはずの親が「ただいま～」と帰宅する便利な世の中でもあると笑わせた。

春雨や雷蔵は相撲協会の無気力相撲を話題にしていたが、国技館の前は閑散としていた。雷門助六は歌丸師匠と同じ横浜出身で顔立ちや外見が似ていることをポーズを作って強調した。「師匠は骨たい美で、出しが出ない。私は肉体美」と吹聴。どちらも痩せ型だった。やなぎ南玉は「寿司くいねえ、酒飲みねえ」で、相撲見物中の客が巻き起こす珍問答が面白かった。時間調整と称して披露した、操り人形の踊り「かっぽれ」は見事だった。三遊亭遊三は老夫婦が裸で食事をする様子をユーモラスに演じて笑いを呼んだ。

ここまでが前半で中入りになる。TV番組の「笑点」を時たま見る程度で、お笑いには縁遠かった私ですが、いつの間にか結構笑っている自分に気づいてびっくりした。中入り後は両側の壁に持たれての立ち見客が増えだす。中座する人を目ざとく見つけて座席を確保する立ち見客達。さながら満員電車にも似て興味深かった。(影響を受けたのかな)桂歌若は黒羽織に黒

縁のめがねで40歳、青森県出身と自己紹介し、津軽弁講座を目玉にしていた。君は「りんごと言われたら、青森」、「みかんと言われたら未完の大器すなわち自宅待機」、「バナナと言われたら会社を叩き売る」、「洋梨は用無し」と駄洒落の連発。「上京に際して親から「人生の落伍者になるな、笑われるのが仕事」と結んだ。東京太ゆめ子は夫婦漫談を続けて40年とか。時世の流れを熟年離婚に絡めて、「進化する女房、退化する夫」を演じ、いわゆるボケと突っこみで笑いを取った。

三笑亭可楽は相撲での行司の呼び込みに焦点を当て、日本語と英語で実演してその違いを笑わせた。呼び込みの声は年輪が感じられる美声だった。檜山うめ吉は芸子姿で登場、紫の着物が似合う美人だった。三味線を弾きながら佐渡おけさや都都逸を歌った。舞も披露した。いよいよ真打登場となり場内は満員。TV「笑点」レギュラー・歌丸の出番。彼の持ち時間は4時10分から4時30分まで。出し物は「餅」で、女房の尻を餅に見立てて、捏取(コネドリ)役の亭主が手水を打ったり、捏ねたり、返したり。その度に女房から悲鳴が出る。一人二役を絶妙の間合いで演じ、時間ぴったりに終演となった。このように書いてみると入場前に担当をあてがわれたことで真剣に見ていたことが分かる。一度本物の寄席を劇場で見たかった。ただそれだけの理由だったが、笑って得した気分です。さてお次は懇親会。演芸ホールを出て、16人は浅草寺観音をお参りして、雷門の近くにある中華レストランへ移動する。オーナー・尹秀蘭さんが放送大学生ということで店は貸切になっていた。私のテーブルの人は全員がビールで乾杯後は老酒を楽しんだ。私も香りも良く人肌に温められた老酒を小さなグラスで、おいしい中国料理と共に味わった。

少し酔い気味で店を出て、120年の風格をかもし出す交差点向こうのKAMIYA BARへ希望者が寄ることになった。一階は満員のため、デンキブランというブランデーをタキシード姿の老紳士から土産に買ってから、急遽二階の和室でデンキブランを賞味することになった。ブランデーにジン、ワイン、キュラソー、薬草などがブレンドされているデンキブランは琥珀色でほんのり甘みもあって魅力的だった。だがアルコール30度は唇に触れただけだった。横浜へ着くと集合から約12時間が経過していた。午前、午後、夜と変化に富んだ一日だった。今回の企画は始めてづくしで面白かった。楽しかった。参加してよかったです。



## 浅草散策同行記

諏訪間 晋

前日の雨も上がり、十月二十五日は好天に恵まれ、会員十六名がJR両国に降り立った。江戸東京博物館のボストン美術館所蔵の浮世絵特別展はたくさんの浮世絵ファンでにぎわっていた。広い展示場には百五十点以上が展示されていて各々に説明文がつけられている。おなじみの歌麿北斎、広重の肉筆や版本が浮世絵ファンを魅了する。時間の関係もあり、心残りながら後半は省略した。

次は浅草に向かった。浅草寺では本堂落慶五十周年記念の本尊ご開帳で大勢の善男善女でにぎわうなか、浅草演芸ホールでの落語観賞。前座で若手の落語や漫才のあと、トリはお馴染みの桂歌丸師匠の登場、満席のお客を笑いの渦に巻き込む。

大満足で仲見世を抜け、浅草寺を参詣して、本日の懇親会の会場「香港亭」に向かう。この店は放送大学のサークル、放友会のアイドル尹秀蘭女史が社長を勤める本格中華料理の店で、女史自ら心のこもったおもてなしで紹興酒に酔い痴れてしまった。香港亭を出て、打ち上げとばかりに勢いに乗って、有名な「神谷バー」に繰り込みデンキブランを堪能して行程は終了となった。



## 講演会と映画鑑賞会

高橋 照夫

同窓会の恒例行事、映画鑑賞会が2月28日、神奈川学習センターで行われました。当日は、午前中がフェスタ実行委員会の講演会で、放送大学教授、吉田光男先生の『隣の文化と付き合うこと』、午後は同窓会の講演会・映画鑑賞会でした。

午後の同窓会の第一部では、同窓会が行っている社会貢献活動担当役員を窓口、財団法人日本フォスタープラン協会（プラン・ジャパン）の大橋三小峰先生をお招きし、『プラン活動について - 子どもとともに奨める地域開発 -』という演題で、画像資料を用いながら、プラン活動に対してのお話、第二部は同窓会会員でもある西浦久晏先生の、映画の中に見るヨーロッパ芸術のお話と、今回の作品『真珠の耳飾の少女』の解説のあと、映画を楽しみました。

今回は、講演会と映画鑑賞会が同日に楽しめることという企画のためか、午前を引き続き、午後第8講義室が満席となりました。評判の作品でありながら、劇場公開の劇場数が少なく、見落としていた方が多かったのか、多数の皆様が映画を楽しんでました。フェルメールの名画が題材で、画家とモデルの少女の至高の愛がテーマとあって、女性の参加者が目立っておりました。午前、午後と1日にわたる行事でしたが、内容の濃い1日でした。



真珠の耳飾の少女  
(青いターバンの少女)  
1658-59年頃  
ヨハネス・フェルメールで  
最も人気のある一点  
(44.5cm×39.0cm)



## 投稿コーナー

会員の皆様の投稿を「投稿コーナー」として、ご意見、感想や情報の提供などを寄せていただき、一層の交流のできるコーナーにしたいと考えております。ご協力をお願いいたします。

### 150年前の横浜

木村 勝紀

今年は、幕府が横浜・長崎・箱館の3港で、ロシア・フランス・イギリス・オランダ・アメリカの五カ国との自由貿易を許可してから丁度150年目の年に当たります。横浜市では「開港150周年記念」の各種行事が計画されています。この「波濤」37号がお手元に届くころには「みなとみらい」を中心にいろいろな記念行事が賑やかに催されていることでしょう。

さて、今から150年前といえば安政6年(1859年)。欧米列強からの開港を迫る外圧、そして大老井伊直弼の進める安政の大獄が吹き荒れた年でした。当時の横浜は、砂州の上に形成された半農半漁の寒村で、戸数わずか100戸たらずだったのです。開港当時の世情を伝える興味あるニュースを選んで紹介致しましょう。

#### ◆安政6年(1859年)5月26日

「開港日迫る！ 英総領事オールコックらつぎつぎ着任！」

イギリスの広東駐在領事だったラザフォード・オールコック(51)が、開港期日を前に初代日本駐在総領事として来日した。イギリスでは、アロー号を口実に清国に戦いをしかけ、1858年6月、天津条約を結び、不平等な条件を押し付けた。同年7月の日英修好通商条約締結にさいしても、天津条約同様の不平等条約条項を望んだが、日米修好通商条約の内容以上の獲得は無理と考え、領事裁判権、最恵国待遇などの条項を精密・詳細に成文化することで妥協していた。オールコックは、江戸高輪の東禅寺に宿舎を与えられ、11月には中日公使に昇格する。やがて、アメリカ公使ハリスに代わって、各国外交団の指導的存在となる。8月10日にはフランス総領事ベルクールも来日する。いよいよ開国の動きは急ピッチとなっていく。

#### ◆安政6年(1859年)5月28日

「開港準備進む横浜・長崎・箱館で五カ国との自由貿易許可！」

幕府は、6月以降、神奈川・長崎・箱館の3港で、ロシア・フランス・イギリス・オランダ・アメリカの五カ国との自由貿易を許可した。すでに幕府は、貿易開始の6月2日に向け、開港場や居留地の設営・整備を進めていた。しかし、神奈川は東海道の宿場で往来が激しく、外国人と

のトラブルが予想されるなどの理由で横浜に設営を急いだ。外国側は条約違反と抗議したが、幕府はこれを無視、波止場近くに運上所(税関)を建て、その東側を外国人居留地、西側を日本人街に指定した。開港後、イギリスのジャーディン・マセソン商会やアメリカのウォルシュ・ホール商会などの近代的貿易商の持ち船が来港し、つぎつぎと横浜に商館を建設する。一方、幕府は御用商人三井家に、日本側貿易商の元締めとして強制的に支店を開かせる。神奈川・下田などの商人たちも店を出し、日本を世界市場に編入する「自由貿易」が開始されることになる。



横浜交易西洋人荷運送の図  
日本全史(ジャパン・クロニク)  
講談社より

#### ◆安政6年(1859年)7月27日

「開港場横浜でロシア士官ら殺傷される 攘夷派志士のしわざか！」

開港場として、前月、自由貿易が始まったばかりの横浜で、ロシア人殺傷事件が起きた。この日夕刻、ロシア使節ムラビヨフの護衛艦隊の乗組員3名が食糧仕入れのため横浜に上陸したところ、本町で、数名の武装した日本人に突然切りつけられた。見習士官モフェトと水兵ソコロフはめった斬りにされ、血の海のなかで死亡した。負傷した賄係一人は、近くの店に飛び込んで一命をとりとめた。犯人は逃走したが、攘夷派の志士の犯行と思われる。事件後、ロシア側の武力報復も予想されたが、幕府の謝罪と神奈川奉行の罷免、被害者の葬儀と墓をつくることで、一応決着する。安政の大獄のさなか、横浜などで貿易が始まり、各国公使館も開設されつつある時期の事件で、攘夷派の攻撃目標は、大老井伊直弼らだけでなく、外国人にも向けられた。この事件をきっかけに、攘夷の名に酔った志士たちのテロ行為が繰り返されることになる。



横浜市西区紅葉ヶ丘  
掃部山公園の井伊直弼像  
この公園は井伊掃部頭(かもんのかみ)直弼に因んで「掃部山」とよんでいる

横浜開港に関連する150年前のニュースを紹介しましたが、国内政治では、大老井伊直弼による反対派の徹底弾圧が吹き荒れていました。吉田松陰をはじめ橋本左内、頼三樹三郎らのかずかずの尊攘派の志士たちが逮捕され、処刑されたことはご存知のとおりです。因みに吉田松陰は、安政6年(1859年)10月27日江戸伝馬町牢獄で刑死、井伊直弼は、翌年の安政7年・万延元年(1860年)3月3日江戸城桜田門外で水戸、薩摩の浪士18人によって暗殺されています。この時代から150年経った今日の日本および横浜の繁栄ぶりを思うとき、正に隔世の感を覚えずにはおられません。以上

## ダンスと私

山田 和嘉子

小学生の頃はインド舞踊、中学時代は体育ダンス、大人になって日舞と社交ダンスというのが、私のダンス暦だ。ダンスにのめり込んだのは20才頃だった。嫁入り前の娘が社交ダンスをしていては、世間体が悪いと反対する父親。その父を押し切って続けていたある日、嵐の中をレッスンに向かう私を見た父は、「お前からダンスを取り上げたら病気になるだろうな」とあきれて許してくれたのは三年経った時だった。その後、教師の資格を得てこれからという時、よりによって、結婚した相手は、ダンス大嫌いな人間だった。約30年間辛抱し、夫を説得。今は再びダンスの火を燃やし、枯れ木寸前の体に四苦八苦しなながら、7月の発表会に向けて、タンゴのレッスンを受けている。

## 探鳥寸描

石橋 正彦

近くの座間谷戸山公園の森の木陰から1羽のノスリが飛び立って、数回羽ばたいたあとは羽を動かさずにゆっくりと旋回して上昇していく。5分程すると豆粒くらいにまで高くなり、やがて北の方へ消えていった。最高の場面だった。ノスリは冬になるとしばしばみられ、いい顔を見せてくれる。この公園には猛禽はノスリの他にオオタカもいて、幼鳥を2羽連れたメスが樹上を飛んでいるのを見たこともある。オオタカが現れると池のカモ達が騒ぎ出す。ときにカモを襲う場面に出くわすこともあるそうだが、残念ながらまだその場に居合わせたことがない。公園を歩いていて3mほど先のクヌギの根方で求愛行動をしているアオゲラに出会ったときも感激であった。ふだん探してもなかなか見つけられないアオゲラを、すぐ目の前に、それも2羽も、となるとベテランでもそう体験できることではない。鳥の方は相手に夢中で、ギャラリーにまで気が回らないせいか、しばらく美しい姿を楽しませてくれた。この森で営巣して、幼鳥の巣立ちが確認できたアオゲラがいた

由。多分私達が見たペアだったのだろう。

いつも観察用望遠鏡に三脚を付けて持ち歩く望遠鏡を持たずに散歩だけを楽しもうとするときに限って珍しい鳥が出てくるので、空振りを覚悟の上、重いのを我慢して持って行かざるを得ない。日向に出てきたカワセミやルリビタキの瑠璃色の羽の美しさ、ジョウビタキの紋付、シメの首周りの模様、ヤマガラ可憐さなど、双眼鏡では味わえない望遠鏡を通しての小鳥達の魅力を楽しんでいる。

この谷戸山公園ではしばしば鳥の群に囲まれることがある。シジュウカラとエナガの群、カシラダカの大群、メジロとコゲラが一緒になった十数羽の群。鳥の群に囲まれるとき、まさに自然を堪能できる。

群といえば、相模原の横浜市古山貯水池の群も見事である。冬になるとキンクロハジロ、ヒドリガモ、コガモなど沢山の水鳥が楽しめる。とくにオシドリの群は見事で、以前は200羽以上もいたのだが、最近は10羽ほどになってしまった。どこへ行ってしまったのだろうか。オシドリも綺麗だが、ヨシガモの美しさの方が私は好きである。日に当たって輝く頭部のグリーン、流れるような風切羽。「高貴」という語を思い浮かべながら見とれる。カンムリカイツブリも見事である。細い姿で優雅な冠。潜水するといつまでも姿を現さないような気がする。

以前は水鳥達は20種以上、2千羽以上も来ていたのに温暖化の影響か、最近はおかつての割程度しか来ていないように思われる。この貯水池で鳥達が提供するご馳走によって、全国に美味しいと知られている横浜の水道の味も落ちてきたに違いない。先日、映画「感染列島」の試写会を見てきたが、鳥インフルエンザに起因するパンデミックという問題も、最近の水鳥の数の激減を見ると、単に映画の中の話では済まされないことと懸念しているのだが・・・。

## フェスタ実行委員会主催「公開講演会」

木下 義則

平成21年2月28日の10時から神奈川学習センター第8講義室においてフェスタ・ヨコハマ実行委員会主催の「公開講演会」が開催されました。今回お招きした講師は、平成20年4月から放送大学教授に就任された韓国近世史が専門の吉田光男先生です。会場には百人を超える同窓生・学生等が集まり溢れんばかりの状態でした。演題は「隣の文化とつきあうこと」～歴史を通して見た韓国との交流～というタイトルで、「私は小学生のころから韓国が大好きで、いつの間にか専門的な研究者になってしまいました。

歴史以外にも韓国のあらゆることに興味をもち、生きた韓国文化事典となるべく精進しています。」と語る吉田先生のユーモアにあふれて、会場の聴衆との巧妙な会話のキャッチボールを随所に取り入れた熱のこもったお話に多くの人が聞き惚れました。

1年間に4～5回ほど(多いときは10回)のペースで韓国においての現地調査が豊富な吉田先生からは、「資料調査のかたわら、現代韓国の息吹を体で感じるようにしています。韓国の歴史・文化・社会を知ることの面白さ楽しさをお伝えして、皆様の知的好奇心を満足させるようなお話をしようと思います。」との意気込みで講演をしていただきました。

予定した講演時間を大幅にオーバーし昼食時間に食い込むほどでしたが、途中で席を立つ人も居らず最後まで和やかな雰囲気の中で行われましたが、非常に残念だったのは質疑応答の時間が全く取れずに一方的に先生の講話を聴く事だけになってしまったことです。

平成20年8月に開催したフェスタ・ヨコハマの「記念講演会」は工藤庸子先生をお招きし「ベトナム・フランス・ヨコハマ」～多文化共生をテーマに～というテーマで講演をしていただきました。奇しくも今年度のフェスタ実行委員会の年間を通した講演会のベースとなったテーマは「文化の違いを認識しよりよく関係を構築する」ということだったのではないのでしょうか、今回は韓国という隣国の歴史・文化・社会の違いを相互理解しより密接な交流をするということを実際に体験されたことを豊富に盛り込んだご講演をいただき、グローバル化が進展する今日に大変相応しい講演会ではなかったでしょうか。

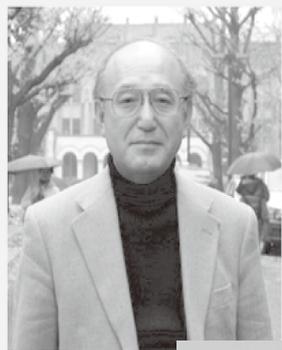
## 放送大学同窓会連合会の紹介

同窓会連合会事務局長 吉原 司郎

今年度のご承知のように神奈川同窓会が連合会の会長を承っております。連合会の主な行事として卒業祝賀・謝恩パーティがあります。本年度の学位記授与式はNHKホールで執り行われ、引き続き、連合会主催の卒業祝賀・謝恩パーティをグランドプリンスホテル新高輪「飛天の間」で行われます。パーティは大学側関係者、卒業生のほか総勢1000名を超える一大イベントになります。

当日は学位記授与式が行われるNHKホールから卒業生をパーティ会場まで誘導し、快くパーティを過ごして頂けるよう運営いたします。この企画立案は連合会役員会により決められ、卒業祝賀・謝恩パーティ実行委員会を立ち上げ遂行します。また、大学側との打合わせやイベント業者との交渉等は連合会々長の主動により進められ、かなり煩雑な仕事となります。

我が神奈川同窓会は言わば幹事同窓会でありますので立派なお役目を果たすべく、笠井会長は連合会の仕事を担当され、神奈川同窓会の活動は、木村勝紀会長代行が運営してこられてきました。お陰様で去る2月28日、神奈川県立「かながわ労働プラザ」に関東一円の同窓会から選出された実行委員79名の方々にお集まり頂き役割分担を決めました。(写真は合唱の練習風景です)本番は3月28日です。神奈川同窓会の実行委員の方々はもとより皆様のご協力また、結団の意味を込め中華街「萬珍楼」で激励会を行い「卒業祝賀・謝恩パーティ」の成功を誓い合いました。本番は3月28日です。神奈川同窓会の実行委員の方々はもとより皆様のご協力をお願いしたいと思っております。



2月28日(土)  
AM10:00～  
放送大学神奈川学習センターにて  
演題「隣の文化とつきあうこと  
—歴史を通して見た韓国との交流—」  
講師 吉田 光男 教授



## 同窓会活動への期待

神奈川学習センター

所長 濱田嘉昭

神奈川同窓会の皆様、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。データによりますと、現在、全国に38の同窓会が設立され、総計で9252名の方々が会員として登録され、そのうち、神奈川学習センターの会員は838名(2008年度8月現在)とのことです。放送大学では石学長のリーダーシップにより、昨年度創りあげた「アクションプラン2008」の下に教員・職員が本学のあらゆる分野で更なる活性化を遂げるべく努めている最中です。同窓会については「放送大学の様々な活動を円滑に推進するためにも、大学同窓会との連携をより深め、同窓会の全国組織化を、大学として全面的に支援する。このために同窓会のための連絡拠点を整備し、教員および事務側の体制を整える」と述べられています。具体的には、同窓会を大学の重要な機能の一つとして位置づけ、そのための拠点場所として幕張本部の若葉会館に部屋を確保し、担当教員として青山昌文教授がその任に当たっておられます。各学習センターでの位置づけもこれに応じて、センターの機能の一部に発展することが期待されます。さて、神奈川学習センターでは、「出あい、触れあい、学びあい」をスローガンとして、いくつかの活動をしています

ので、同窓会の皆様にもお伝えしたいと思います。まずは、学長裁量経費のプロジェクトとして出発したボランティアの「サポーターチーム」が活躍中です。「学習支援」、「同好会・フェスタヨコハマ支援」、「センター機関紙編集」、「地域連携」、「特別企画」などのチームがあり、現在39名の学生の皆さんが参加され、さらに参加を募集しています。興味のあるかたは神奈川学習センターのHPからアクセスしてみてください。私は、生涯学習というのは教員が知識や経験を一方的に教えることではないと考えています。それぞれの学術分野では確かに専門家である教員は教える立場にあるでしょう。しかし、本学の学生あるいは卒業生は、多くの方が社会の何らかの構成員として、それぞれ専門的な活動をされているし、あるいは重要な役割を果たされ、貴重な経験を蓄積した人たちです。したがって、生涯学習では、学生・職員・教員がそれぞれの立場から互いに知恵を出し合って、学習を求めるすべての人に知識や経験を共有するための教材やその手段と仕組みを考え、創りあげることが理想であると考えています。同窓会の皆さん、皆さんが放送大学に入学されたときの情熱と本学で学ばれた成果を、周辺の人々や後輩の学生の皆さんに伝えてください。放送大学は同窓会を通じてそのような活動を共に担ってまいりたいと考えております。

## 行事活動報告

### 社会貢献活動 フォスター・プランについて

石橋 正彦

放送大学神奈川同窓会は、会の社会貢献活動の一環として会員の皆様にご協力頂いた募金から日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)に毎年フォスターチャイルド5名分、1人あたり年間6万円、計30万円を送っています。このお金は直接子ども達に手渡されることはなく、制服や教科書の供与などの直接的な教育支援もありますが、むしろ生活環境の改善など、教育以前の間接的な援助の方が多いくらいなのです。

以前、フォスターペアレントとして、フィリピンのルソン島の南にあるマリンドゥケという島を訪問したことがありました。マニラから飛行機で30分ほど行った小島の静かな農村で、そこに住むフォスターチャイルドに会いに行ったのですが、その子の家では台所の改善(土間

にコンクリートの床をつけること)、トイレの新設(汲み取り式ですが)などの工事中でした。また、近くの川からポンプで水を汲み上げ、水道管を村中に配して飲み水の確保をしていました。飲料水(potable water)の確保が最優先事項であることを改めて知らされたのですが、これらの工事は皆プランの援助によるものでした。

ふだん蛇口をひねれば美味しい、きれいな水があたり前のように出てくる、おまけにその貴重な水を洗濯や風呂に、さらには水洗便所で流している私達の生活からは、飲料水の確保が最優先事項というのはなかなか考え難いことです。子ども達の教育環境をよくするためにまず生活環境を改善する、そのための支援としてプランを通じたささやかな募金が使われているのを実際に見て嬉しく思ったことでした。タイのカンチャナブリのクワイ川に有名な「戦争にける橋」がありますが、そのかたわらに「戦争博物館」があって、入り口の掲示板に「許そう、しかし決して忘れるまい(Forgive, but never forget)」との言葉が書かれていました。

その橋は泰緬鉄道といって当時タイからビルマ(ミャンマー)への日本軍の物資補給路確保のために重要で、そのため英軍捕虜の他に大変多くのマレー人、インド人、華僑などが動員され、架橋のための強制労働をさせられたのですが、暑さ、栄養不足に加えてマラリアによる犠牲が大変多かったことがその言葉の所以だそうでした。毎年8月になると広島、長崎、東京大空襲など日本人が流した血について語り継がなければならないと報道などで語られますが、日本人が流した血だけでなく、日本人が流させた血についても語り継がなくてはならないということをこの言葉から思われました。

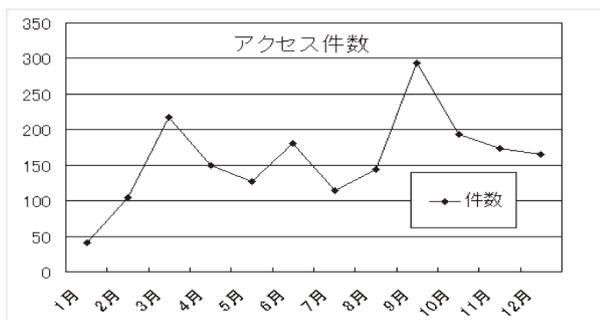
なぜ私達は途上国のために援助をするのでしょうか。いろいろな考え方があると思いますが、私はとくにアジアの諸国で日本人が流させた血という過去に蒔かれた負の種に対する思いの一端を、日本人として子ども達への教育支援という形で、少しでも表したいと思うのです。私達の途上国に対する思いはさまざまですし、援助として出来ることも人によってそれぞれ異なると思いますが、プランを通して途上国の教育支援をすることも一つの方法でしょう。フォスターペアレントになってチャイルドを個別に支援することは経済的に困難でも、1日10円か20円を節約して、年数回に分けて同窓会に送る形でプランの募金に応じることはそれほど難しくはないでしょう。

神奈川同窓会の社会貢献活動について、少しでも多くの方々のご理解を頂き、さらなるご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

## 同窓会ホームページに関する報告

寺村 紀美夫

同窓会のホームページは、2009年元旦にて開設から1周年となりました。その1年間のホームページへのアクセス(訪問)件数は次の表の通りです。この1年間の合計は1905件、最大月は9月の294件、月平均は159件、日平均は5件となっています。日5件はまだ大変少ない件数と思われるので、コンテンツ等の内容を更に充実させていかねばならないのではと反省しています。



## 会員の皆様へHPコンテンツ提供のお願い!

HPは内容の更新が命とされています。即ちHPの各ページ内容は最新情報、最新コンテンツが必要なのです。会員皆様のコンテンツを募っています。会員皆様からのHPに載せるためのエッセイ、小論文、詩、和歌、俳句、川柳、写真、放送大学生時代の思い出や感想等何でもよろしいので投稿をお待ちしています。

HPアドレスはこちら↓です。

[http://www.geocities.jp/hatoh\\_net/](http://www.geocities.jp/hatoh_net/)  
(hとnとの間はアンダーバーです)

## 波濤ネットの会について hatoh-net@yahoogroups.jp

岡本 興和

波濤ネットの会は

メールのhatoh-net@yahoogroups.jpを介して双方向の発信を行うネット網の会です。2007年11月に開局し、この4月で18か月を迎えます。登録会員は現在76名で発信を行い身近な情報を分かち合っています。会員の発信したエッセイや情報、神奈川同窓会の社会貢献事業のフォスター・プランの最新のニュース、浅草で落語を聞く同窓会行事の写真入りレポート、NHKホールでの学位記授与式やホテルでの卒業・謝恩パーティーの様などなどいち早くお届けをしています。また神奈川同窓会はホームページを運営していますがホームページとの連携を深め投稿があると波濤ネットの会の会員にはいち早くお知らせすると同時にメール会員以外の会報紙波濤の読者にも神奈川同窓会の活動状況が判るようになっていきます。波濤ネットの会に入会希望者はお名前、ウイルス対策ソフト名を明記してシステム管理者のアドレスに送信をお願い致します。

システム管理者 岡本興和

okow1439@amethyst.broba.cc

最後の2文字はシーシーです。

波濤卒業記念特別号 平成21年(2009年)3月28日



# 波濤

卒業記念特別号  
神奈川同窓会  
発行 平成21年3月28日

**ご卒業おめでとうございます**

ご卒業の皆様!!  
神奈川同窓会を楽しみませんか  
楽しみ方は多彩です

神奈川同窓会のホームページはコンテンツがいっぱい!!

**ネットを楽しむ**

[http://www.geocities.jp/hatoh\\_net/](http://www.geocities.jp/hatoh_net/) 後から5文字目はアンダーバー  
波濤ネットの会で情報交換 hatoh-net@yahoogroups.jp

卒業記念特別号  
三月二十八日発行

## 2008年10月入学式 学位記授与式、卒業祝賀パーティ

寺村 紀美夫

2008年10月5日の午前に「入学者の集い」と午後  
に「学位記授与式」が第八講義室で行われました。  
午後3時からの「学位記授与式」には“生活と福祉”  
11名、“発達と教育”28名、“社会と経済”  
6名、“産業と技術”5名、“人間の探求”1  
1名、自然の理解”4名、“大学院”1名、“グ  
ランドスラム”4名合計70名の皆様が参加され  
ました。卒業証書及び学位記証書は濱田センタ

一長より1人々に授与され、授与を受けた方々は  
感無量の面持ちでした。授与式後、センターの  
玄関にて専攻ごと・大学院・グランドスラムの順  
にて記念写真の撮影が行われました。

記念撮影後午後4時頃から神奈川同窓会の主催  
で祝賀パーティーが行われました。事務局長の志  
賀さんの司会進行で神奈川同窓会会長の笠井さん  
のスピーチで始まり濱田センター長の挨拶 宮崎  
事務長の乾杯、坂井先生の祝辞の後、暫く参加者  
相互の歓談で楽しみました。その後、2名の卒業  
生と4名のグランドスラムの方々の大変貴重でた  
めになり、しかも楽しいスピーチを拝聴しまし  
た。副会長の吉原さんの閉会の辞で1時間半の宴  
が終わりました。

## 平成20年度放送大学学位記授与式

岡本 興和

平成21年3月28日(土)に学位記授与式が渋  
谷のNHKホールで行われました。式次第による  
と学部5159名、大学院423名です。来年に  
は卒業・修了生は6万人を超える事が現実味を帯  
びてきました。厳かに行われた式典には、神奈川  
学習センターでは194名の方が卒業・修了し、  
教養学部の6専攻を全部達成した神奈川\_吉田昭  
二氏 宮下光氏 群馬\_小屋原毅氏 宮城\_丹榮氏  
の4氏には学長表彰が行われ神奈川同窓会の吉田  
昭二さんが代表として石弘光学長より表彰を受け

ました。我が人生最良の日であったことと思いま  
す。改めてお祝い申し上げます。

式典での学歌演奏には56名がステージに登壇  
して合唱し、神奈川学習センター所属の人も28  
名参加しました。

式典終了後は大型バス18台に分乗し品川のグ  
ランドプリンスホテル新高輪で卒業・謝恩パー  
ティが同窓会連合会主催で行われました。東洋一  
といわれる飛天の間には学習センター別に円卓が  
置かれ学友や石学長を始め先生方も加わり談笑が  
いつまでも続いていました。神奈川同窓会は主幹  
事同窓会として関東・甲信越の同窓会の協力を得  
て盛大に催す事が出来ました。



平成二〇年度  
放送大学学位記授与式  
我が生涯最良の日

NHKホール  
グランドプリンスホテル新高輪  
平成二十一年三月二十八日(土)

## 事務局だより

### 1、新会員のご紹介(敬称略)

平成20年10月以降平成21年3月25日までに入会された方をご紹介します。よろしくお祈りします。

南マサ子 杉崎美幸 馬場賢二 保坂運規  
 今泉俊彦 田港位具子 北郷孝 清水英行  
 森柳子 泉水憲一 青木利澄 中島雅夫  
 竹村和巳 小林朋子 瀬戸田勇 曾根崎純尚  
 後藤初江 吉川正明 清水貴之 芝野勝子  
 押井孝治

平成20年10月から入会された方への礼状をお送りしています。

2、平成21年度は2年連続入会金未納者へのサービス停止が適用され会員数の減少が避けられない状況ですが、平行して会員拡大の対策も実施しています。

- (1) 入会金の減額：5000円を2000円に改訂
- (2) 後期入会者には初回年会費を500円に減額(詳細は会則参照)
- (3) 新卒者への入会勧誘回数増：1回を2回へ皆様、放送大学卒業のお友達を同窓会入会へ是非お誘いください。

3、昨年(2008年)の8月には平成19、20年度の年会費未納の方へ手紙をさしあげ納入のお願いを致しました。この件に限らず、問い合わせやご意見がお有りの場合は下記までご連絡ください。

- (1) 年会費振込先  
 ゆうちょ銀行  
 口座 00250-4-16183
- (2) 事務局連絡先  
 〒246-0025  
 横浜市瀬谷区阿久阿西2-55-8  
 志賀健三 045-363-1054

## 神奈川同窓会活動より

事務局長 志賀 健三

平成20年度の活動は6月に行なわれる総会で詳しく報告されるので、ここでは報告書には表現されない部分をかいつまんでお話しします。

通常的意思決定は役員会々議で行なわれます。現在役員は22名、役員会は年10回程度開かれています、役員出席率は70%位。いつもテーマが盛り沢山で非常に活発な議論がなされたたびたび時間切れになってしまいます。

昨年の5月17日には重要案件である会員数の伸び悩みの対策として入会金の減額を討議。決定にいたるまでには、段階的減額案、廃止案、

経過措置などが検討されたが時間切れ、やむなく6月1日に臨時役員会議を開き総会に間に合った次第です。ところで今年の4月から連続2年の年会費未納者にはサービス停止扱いが初めて適応され会員数が激減致します。

なぜ2年前にこのような会則の変更を行なったのでしょうか。年会費納入率は当時の会員約800余名に対し50-55%程度で先行きが懸念されました。(現在もほぼ同水準)そこで余力のあるうちに思いきった対策を実施し、活動内容の充実も同時に進めようということになりました。これも十分な議論で結論を出し総会で認められた結果です。役員一同、同窓会の更なる発展をめざし懸命に取り組んでおりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 放送大学の専攻制が変わりました

2009年4月から3コース(3学科に相当)6専攻制から教養学科という1学科5コース制に変わりました。詳しくは放送大学のホームページに掲載されていますが各コース間の関連が緊密となり、それぞれのコースの特長が一層明確となっています。新しい専門科目は表のとおりです。学部から大学院への進学がスムーズに行われるようになっています。また学生用新教務情報システム(WAKABA)が構築され「成績照会」などが利用できるようになっています。

	2008年度まで 3コース6専攻	2009年度より 1学科5コース	
生活科学	生活と福祉	生活と福祉	教養学科
	発達と教育	心理と教育	
産業・社会	社会と経済	社会と産業	
	産業と技術		
人文・自然	人間の探究	人間と文化	
	自然の理解	自然と環境	

## 原稿募集

事務局ではいつでも会員の皆様のご投稿をお待ちしております。紙面の都合により掲載出来ない場合もありますがその時はご容赦ください。皆様のご自由なご投稿により紙面の充実を目指しています。